



1 愛知県立豊田東高等学校創立100周年記念式典・記念講演会

令和5年11月11日(土)午前9時30分より、豊田市民文化会館大ホールにて、「愛知県立豊田東高等学校創立100周年記念式典」を挙行了しました。

「創立100周年記念式典」は記念式典、アトラクション、記念講演会で構成され、愛知県教育委員会教育委員、度會秀子様をはじめとした御来賓の皆様、招待者、同窓会「わかきぬ会」会長、加藤文子様はじめ役員の皆様、在校生、教職員が出席しました。記念式典は代表生徒4名による司会で、国歌斉唱、実行委員長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、感謝状贈呈、記念品贈呈並びに生徒誓いの言葉、校長謝辞、校歌斉唱と続き、厳正な雰囲気の中、執り行いました。



司会生徒

創立100周年記念式典を終えて、1番思ったことは、100年に1度しかない貴重な式典の司会を務めることができ良かったということです。式典の進行は司会で決まるため、司会を務めることは想像以上に難しく、苦戦しました。しかし、式典を成功させるために4人で業後や夏休みも練習をしたことで、無事式典を終えることができ良かったです。100周年を迎えることができた豊田東高校が今後も未来に向けて進化し続け、100年後にはまたこのような式典が行われると良いなと思います。



創立100周年記念式典の司会を任されたときは、本当に私たちでいいのかと不安がありましたが、4人のメンバーで毎週業後に集まって練習したり、小崎校長に直接ご指導いただいたりして無事本番を迎えることができました。最初は緊張していましたが、式が進むにつれて、緊張もほぐれ、楽しんで終わることができました。100周年という長い歴史の節目の行事にこのような貴重な経験をさせていただきとても嬉しく思います。



今回、日高のりさんに『天職に会えるまで』という演題で特別講演会をおこなっていただいた。冒頭、即興で一度は聞いたことであるだろう「ざわざわ森のがんこちゃん」の演じ分けを披露していただき、生徒たちから歓声が沸いて会場は和やかになっていた。日高さんはどのように現在に至ったのかという過程をとっても明るく話していただき、その中「挑戦する勇氣」「やり切る信念」「人との関わり」を強調されていた。自分の個性を高めていく今の時代に、それを磨き上げていくために他者との関わりが大事だということ、生徒たちの心に思い出とともに残ってほしい。



日高のりさんと一緒に朗読ができると聞いた時、嬉しさのあまり叫んでしまいました。本番は一発勝負だったため、ものすごく緊張しましたが、日高さんが楽しそうにどうどうと演技をしてくださったおかげで、安心して練習どおりに楽しく演技ができました。日高さんは本番が始まる前にも私たちの演技を褒めてくださいました。憧れの方に声を掛けていただけてとても嬉しかったです。きっと一生に一度しかない貴重な経験になると思います。

今回私たちソフトボール部は日高さんに部活動紹介のナレーションをしていただきました。日高さんに名前を呼ばれて返事をするシーンは緊張しましたが、気が引き締め、大会に向けてより一層頑張ろうという気持ちになりました。日高さんは声優になるまでにさまざまなことに全力で取り組んでいたと話されていました。私は、自分の夢を本当に実現できるかどうか心配したり悩んだりして踏み出せないことがあります。しかし、今回の講演を聞き、困難なことにも挑戦しようという気概が湧いてきました。この気持ちをもって日々いろんなことに取り組みたいです。

誓いの言葉

100周年という節目の年に立ち会うことができただけでなく、誓いの言葉という大役を私たちに任せていただけたことを誇りに思います。自分たちで一から文章を考えたり、先生方の助けを借りたりしながら練習を重ねました。全校の前で話す機会はなかなかないのでとても緊張しましたが、貴重な経験をすることができました。また、100周年記念式典を無事に終わることができ、周りの方々からもお褒めの言葉をいただくことができとても嬉しかったです。



2 体育祭

11月2日(木)夏に逆戻りしたような日差しの中で、体育祭が開催されました。学年の壁を越えて、団結して競技に臨む姿や、お互いに応援し合う姿がとても印象的でした。また、生徒会を中心とした応援パフォーマンスも、みんなを楽しませ、体育祭を盛り上げてくれました。準備・運営では、多くの部活動、委員会のみなさんが協力してくれました。



「生徒会で何か企画してくれない？」こう言われたのは体育祭の1週間前でした。ゼロを1にすることは難しく、限られた時間と制限に焦りを感じていました。応援団の仲間は時間があまりないにも関わらず、案を出してくれたり、朝も集まって練習してくれたりしました。私はその姿に助けられ、本番も全員で一致団結して成功させることができました。ありがとう。



体育祭の練習をする機会が少ない中でも1回1回の練習を大切に、勝つためにはどうすればよいかを考えて話し合いました。当日は、学年の壁を越えてみんなが必死になり、競技に取り組むことで、最後の体育祭で優勝することができ、結果発表の際には、みんなで立ち上がって喜んだことがとても思い出に残っています。



3 ビジネスプラン コラボ商品「東のり」



JA産直市場いこまい若林で9月22日、豊田東高等学校のビジネスプランの生徒が授業の一環として、永井海苔株式会社と共同開発した商品「東のり」の販売実習を行いました。中高生の子どもをもつ主婦層がおにぎりに使ってもらえるように地元三河湾の海苔を使用した焼きのりを採用しました。実習した生徒は「実際に手に取ってもらえるようにPOPを作るなどの工夫をした。買ってもらう喜びを得ることができて良い経験ができた。」と話していました。この店舗限定の販売で、売り上げの一部を日本財団母乳バンクに寄付しています。

